

大正十二年

雜事

地方 知事官房



工-49

無收字五五五号

大正十二年九月十日



群馬縣 碓氷郡 長門町

群馬縣内務部長殿

避難民救護状況報告書一件

標記 件 尤記 一通 及 報告書 併送 也

記

一 避難民通過 際ニ於テハ 救護状況

其 高野 驛ニ 依テ 函 送 上 紙 三 線 一 分 岐

乘 三 人 以 下 難 民 滿 載 一 列 車 一 分 岐

驛ニ 於テ 亦 過 半 數 下 車 成リ 乘 客 皆 々 勤 勞

ふりて其難難名收ふべからず。此由
アリテ市街救護班(市救護班)を
魁トシ柱御身人中七学生 青年會、婦
人會、女宗敬會、救世軍)ハ迅速ニ
依頼シテ(名糧)ニテ(飯) 菓子(ハシ糧)
飲料水ヲ給片ニ當備セル者ハ医師會
派遣シ看護婦ヲ慰問シ保護シホム
ハ(救護所)ニテ依頼セシメ重傷者ハ別
ニ救テタル收迄所ニ運ビ、輕傷者ハ自
花柳聖者ハ休養後隨意ニお戻セルハ
難也。到着後ノ救護所後

多市ノ難難セルモノ、内健康ナルモノ
宿泊所(イソ)イタノ在宿泊所(萬盛
在善地)ニ依頼セシメ市内ノ知セ
ルハ、應行先ヲ尋テ休養ニお戻セル
ハ、重傷者ノ取扱ハ平ノ向ハ但シ知セ
ルモノ急遽ニ通知シテ看護セシメ
ハ、救護所(救護所)ハ劇場、寺院、
イレバ、ハカウリカト異リ設備完全ニ
難者ヲ救護セシムルニ充テ
宿舎者ハ金庫其他ノ施設等ヲ給片ニ

又、甚相諒之態に於て、道路ノ處置ヲ如
 儀トシ、而シテ此舉ノ難者、大部分ハ
 聖朝右の地ノ如キモノト例トセリ
 難者ノ由在出知セテ、唯案出カ
 市ニ未レレハ、料ニテハ、市由一有為ニテ
 難者救護ノ中ニ於テ、家ノ送届ク其
 心神一靜養ニ努ムルハ

一、良ク救護費ノ支辨方法

先づ上層者トシテ、市ノ救護費例（ハ）
 主要糧食、如水費、救護費等、市ノ
 務費ト以テ之辨シ、然レテ、性費ノ其類ナク

水費用、例（ハ）水化、水水等、費用、病人

等、兄弟、弟、弟、等、如、市、由、有、為、
 市、務、費、ノ、以、テ、之、辨、シ、充、テ、救、護、院、ナリ

難民救護

第一報

前田通ノ計	白九十四 至九十九日分	計	憐者
一、七、七	一、七、七	一、七、七	
八、七、二	八、七、二	八、七、二	
一、九、五、五	一、九、五、五	一、九、五、五	

市中、親戚、等、イリ、果、然、難、シ、ル、モノ、至、見、テ、憐、者、家、中、由
 市、務、費、ノ、以、テ、之、辨、シ、充、テ、救、護、院、ナリ

辰レリ

松ノ村ニル其性所著地ニ目下柳堂ニ存米迄報
務ニ可憐